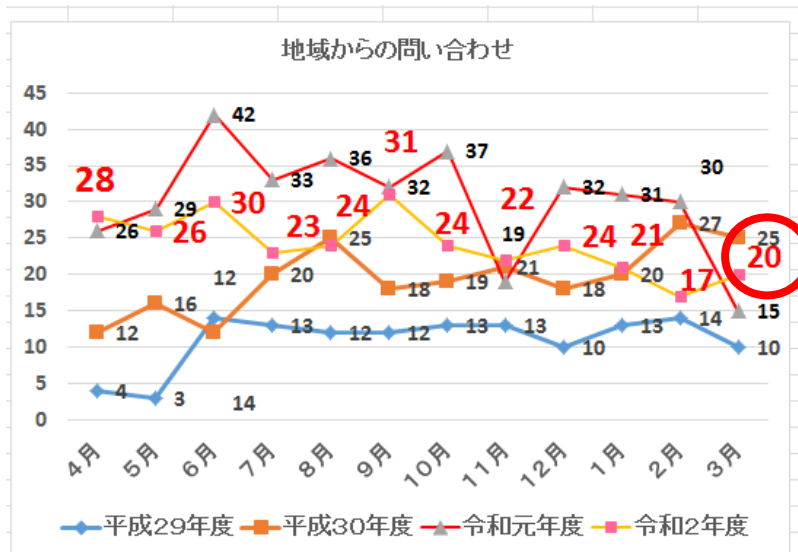


地域包括ケア病棟広報誌Design第60号です。令和3年3月の問い合わせ状況の報告、人事のお知らせなどを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

令和3年3月の問い合わせ状況について

～ 引き続き宜しくお願いします ～

令和3年3月は、20件のお問い合わせを頂戴しました。ありがとうございました。令和3年度も引き続き、宜しくお願いいたします。



引き続き、感染拡大防止のご協力をお願いします

～ 不要不急のご来院はお控え下さい ～

不要不急のご来院はお控え頂きますようお願い申し上げます。なお、入院時に頂戴している在宅サマリー、訪問看護サマリーなどは、FAX又はメールで頂戴できますようお願いいたします。ご不便をおかけしますが、宜しくお願いいたします。（南出）

FAX : 0774-72-8891

メール : ti0001@yamashiro-hp.jp

人事のお知らせ

4月の人事で、以下のようになりましたのでお知らせします。引き続き、宜しくお願いします。

- 谷川 誠司 地域医療連携室 係長（臨床心理士）（旧 地域医療連携室 主任）
- 中野 明子 地域医療連携室 主任（社会福祉士）（旧 地域医療連携室 主事）

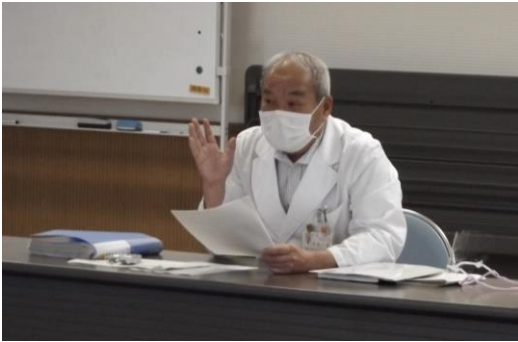
地域医療連携室より

～ 全力で取り組む姿勢 ～

令和3年3月末で中井院長が退任され、令和3年4月1日より、岩本新院長の元で新たなスタートを切りました。そして、中井先生は4月1日より、京都山城総合医療センター特別参与兼介護老人保健施設やましろ施設長として、当組合に関わって頂くことになりました。

*

中井先生は、平成19年に副院長に就任、平成20年4月からは地域医療推進部長として、医師会の先生方をはじめとした地域の関係機関の皆様との連携の窓口として役割を果たしてくださいました。そして、平成25年9月から院長として、当院の舵を取ってこられました。日頃から、医師会の先生方をはじめとした地域の関係機関の皆様との連携の重要性について様々な場面で教えて頂き、そのことが院内にしっかりと根付いた結果として、紹介率・逆紹介率が上昇し、また、地域の皆様を対象とした研修会も数多く開催しました。そして、院長在任中の平成29年11月には念願の地域医療支援病院の承認を京都府から受けることができました。



本来であれば、送別会のような節目となるイベントで、中井先生から全職員に対し、何かしらのメッセージがあるかと思うのですが、今年は新型コロナ感染症のため、節目となるイベントがなく、少々寂しく感じていました。であればと、私が日頃から中井先生から教えて頂いている内容を、中堅の職員にも知って欲しいという願いから、令和2年度最後の「診療推進委員会」という会議をオープン参加とし、中井先生から事務職員を中心とした中堅職員に対し、これまでの振り返りと今後の展望について、話をして頂く機会を設けました。内容は、医療の未来をみたいと思いアメリカへ渡ったこと、PDCAサイクルが重要であること、そして、未来の当院の存在意義に関する事など、多岐にわたり、大変興味深

く聞かせて頂きました。当初は20分間の予定でしたが、最終的には45分間の話となり、同じ部屋で次に控えていた会議のスタートが遅れたぐらいです(内容は濃く、あっという間の時間でした)。

*

中井先生から様々なことを学ばせて頂きましたが、特に、何事にも全力で取り組む姿勢、そして、現状に満足することなく高みを目指す姿勢を学びました。その姿勢を忘れることなく、引き続き、患者さん、地域の皆様のために尽力をつくしていきたいと思っています。地域の皆様におかれましては、引き続き、当組合(京都山城総合医療センター・老健やましろ)をご愛顧頂きますようよろしくお願いいたします。ご要望がありましたら、地域医療連携室までお願いします。妥協することなく、何事にも全力に取り組んでまいります。(地域医療連携室 室長 南出 弦)